



今宿小学校 学校だより



令和6年度 3月春休み号 令和7年 3月 25日発行 校長 奥谷 みさ

昇降口の前の桜に、ようやく花が開き始めました。温かい日が続いていたので卒業式の日も、と願っていましたが、当日はみぞれ交じりの雨が降る寒さとなりました。しかし、6年生の晴れやかな姿に、そして学年で力を発揮した呼びかけ、素敵な歌声に、心温まる卒業式となりました。そして本日は、卒業式で最高学年としての思いを受け継いだ5年生が、校歌の指揮、伴奏の大役を果たし、修了式を終えることができました。

修了式を終え、子どもたちが進級への気持ちを膨らませていることが伝わってきました。今年度の成長を自信にし、春に向かって大きく花開くことを願っています。

卒業 おめでとう!

3月19日(水)、今宿小学校第47回卒業式を行いました。保護者の皆様、来賓としてお迎えした地域の方々、教職員に見守られ、93名の卒業生が、今宿小学校を巣立っていきました。5年生が在校生代表として卒業式に参列し、呼びかけでは6年生に向けてお祝いの言葉と素敵な歌声を贈り、そして学校を引っ張っていく決意を伝えていました。1年生から4年生、ぽぷら級は、壁面作品で式場を華やかに演出し、みんなのおめでとうの気持ちがあふれた温かい卒業式となりました。

6年生は、一人一人が自分の名前を言い、真剣な眼差しで卒業証書を受け取りました。私は、その真剣な眼差しに、中学に向けての強い決意を感じました。式辞では、今宿小学校で成長した自分に「自信」と「誇り」を持ち、「夢」に向かって進んでいってほしいという思いを伝えました。また、「夢」をかなえるために、「夢」へ向かっていく「基盤」を作っていこう、という言葉を送りました。「夢」への基盤=自分自信の「基礎」となることに取り組み、基礎基本を強くするとともに「自信」もつけていく。まるで、木が根をどんどん太くし、それとともに深く強く根を張るようなイメージであることを伝え、「疾風に勁草を知る」という言葉とともに、本当の強さ=自分の基盤・根っこをもった人に成長してほしいという願いを伝えました。

卒業生は、卒業に向け積み上げてきた学年での力を発揮すべく、立派に別れの言葉を伝え、素敵な合唱を披露し、自分たちで卒業式をつくり上げることができました。最後の合唱で自分たちの力を出し切り歌う姿に、子どもたちのさらなる成長と活躍を見守り続けたいと思いました。ご来賓の方々からは、子どもたちの成長を、次につなげていけるよう支えていきたいという言葉いただきました。6年生として学校を支えてくれたことへの感謝と、中学生としてのさらなる成長に期待をこめ、教職員一同、大きな拍手と激励の言葉をかけ、卒業生を見送りました。

〈令和6年度 修了を迎えて〉

今年度は、子どもたちの交流がより活発となり、学級、学年として協力することを学ぶことができた1年であったと思います。子どもたちの頑張りをご家庭にお伝えする方法として、前期終わりに成績面談を実施したことは、教職員にとっての大きな一歩となりました。

保護者の皆様には、今年度も、本校の教育活動に温かなご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。アンケートや皆様からご意見をいただき、学校としての課題もつかむことができました。

見守りボランティアの方々、推進協、プラザ今宿、地域の皆様には、子どもたちを温かく見守りいただきましたこと、感謝申し上げます。

今宿小学校の子どもたちの良さは、「素直」「優しさ」をもっていることです。子どもたちが「良さ」を「自信」につなげ成長することを願い、来年度も、全職員が一丸となって教育活動の充実に努めてまいります。今後とも今宿小学校をどうぞよろしくお願いいたします。

保護者の皆様、地域の皆様、この1年間のご支援 どうもありがとうございました。